



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場取引所 名

上場会社名 セントラルフォレストグループ株式会社

コード番号 7675

URL <http://www.centralforestgroup.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)永津 嘉人

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)神谷 亨

TEL 052-671-4145

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

2020年9月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	136,183	—	△233	—	△87	—	△93	—
2019年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △695百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△10.65	—
2019年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年4月1日に共同株式移転により設立されたため、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	85,352	27,291	32.0
2019年12月期	103,992	28,206	27.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 27,291百万円 2019年12月期 28,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	25.00	25.00
2020年12月期	—	15.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年4月1日に共同株式移転により設立されたため、2019年12月期第2四半期までの実績はありません。

3. 2019年12月期 期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当2円50銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	—	600	—	870	—	560	—	63.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 2 Q	8,781,749株	2019年12月期	8,781,749株
2020年12月期 2 Q	—株	2019年12月期	—株
2020年12月期 2 Q	8,781,749株	2019年12月期 2 Q	—株

(注) 当社は2019年4月1日に共同株式移転により設立されたため、前年同四半期の計数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料のP.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、2020年12月期の連結業績予想の対前期増減率に関しましては、当社が2019年4月1日設立であること及び決算期の変更に伴い、前期と当期で連結会計期間が異なるため比較は行っておりません。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2019年4月1日に株式会社トークン及び国分中部株式会社が、共同株式移転の方法により両社を完全子会社とする株式移転設立完全親会社として設立されました。設立に際し、株式会社トークンを取得企業として企業結合会計を行っていること及び決算期の変更に伴い、前連結会計年度(2018年10月1日から2019年12月31日まで)の連結経営成績は、取得企業である株式会社トークンの前連結会計年度(2018年10月1日から2019年12月31日まで)の連結経営成績を基礎に、国分中部株式会社の2019年4月1日から2019年12月31日までの経営成績を連結したものであるため、前年同四半期との対比は行っておりません。

また、文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の食品流通業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の国内外での拡大によって緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出やイベント等の自粛要請もあり、先行きの不安や収入減から消費者マインドは悪化し、大変厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後、社会経済活動が再開されつつありますが、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化が懸念される中、感染防止策の徹底が求められ、外出を控える傾向は続いております。外出を控えて自宅で過ごす人のいわゆる「巣ごもり需要」がある一方、外食チェーンの苦戦に加え在宅勤務等による都市部のコンビニエンスストアにおける来店客数の低迷により、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、「食」のインフラを支え、「食」を安定的に供給し続けるという食品流通事業者としての使命を有しており、その使命を果たすべく事業継続に最大限努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,361億83百万円、営業損失は2億33百万円、経常損失は87百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は93百万円となりました。

当社グループは、食品酒類卸売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は853億52百万円となり、前連結会計年度末と比べて186億39百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が123億1百万円、商品及び製品が32億26百万円、現金及び預金が18億25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は580億60百万円となり、前連結会計年度末と比べて177億24百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が164億21百万円、未払金が11億86百万円それぞれ減少したことによるものであります。

さらに、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は272億91百万円となり、前連結会計年度末と比べて9億14百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が5億73百万円、利益剰余金が3億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の国内外での拡大による業績への影響について正確に把握することが困難なため、2020年5月8日に未定として公表しておりました2020年12月期の連結業績予想を現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,959	10,133
受取手形及び売掛金	46,606	34,305
商品及び製品	9,956	6,729
原材料及び貯蔵品	56	69
未収入金	8,985	8,834
預け金	4,401	4,291
その他	834	641
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	82,797	65,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,434	3,374
土地	4,688	4,688
その他(純額)	731	762
有形固定資産合計	8,853	8,824
無形固定資産	231	221
投資その他の資産		
投資有価証券	9,102	8,283
退職給付に係る資産	486	488
差入保証金	2,272	2,259
その他	259	283
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	12,108	11,302
固定資産合計	21,194	20,349
資産合計	103,992	85,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,113	50,691
未払金	4,744	3,558
未払法人税等	85	73
賞与引当金	243	95
役員賞与引当金	12	3
その他	522	838
流動負債合計	72,722	55,259
固定負債		
繰延税金負債	1,681	1,381
退職給付に係る負債	0	0
資産除去債務	425	429
その他	955	989
固定負債合計	3,063	2,801
負債合計	75,785	58,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	6,053	6,053
利益剰余金	16,402	16,089
株主資本合計	24,055	23,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,933	3,360
退職給付に係る調整累計額	217	188
その他の包括利益累計額合計	4,150	3,549
純資産合計	28,206	27,291
負債純資産合計	103,992	85,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	136,183
売上原価	124,693
売上総利益	11,489
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	8,403
給料及び手当	1,644
賞与引当金繰入額	84
役員賞与引当金繰入額	3
退職給付費用	21
賃借料	238
貸倒引当金繰入額	△0
その他	1,326
販売費及び一般管理費合計	11,722
営業損失(△)	△233
営業外収益	
受取利息	10
受取配当金	68
その他	91
営業外収益合計	170
営業外費用	
支払利息	4
売電費用	11
その他	9
営業外費用合計	25
経常損失(△)	△87
特別損失	
減損損失	23
特別損失合計	23
税金等調整前四半期純損失(△)	△111
法人税、住民税及び事業税	11
法人税等調整額	△29
法人税等合計	△18
四半期純損失(△)	△93
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2020年1月1日
至 2020年6月30日)

四半期純損失(△)	△93
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△573
退職給付に係る調整額	△28
その他の包括利益合計	△601
四半期包括利益	△695
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△695

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△111
減価償却費	232
退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少)	△42
減損損失	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△148
受取利息及び受取配当金	△79
支払利息	4
雑収入	△91
売上債権の増減額(△は増加)	12,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,213
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,421
未収入金の増減額(△は増加)	120
未払金の増減額(△は減少)	△1,182
その他の資産の増減額(△は増加)	87
その他の負債の増減額(△は減少)	298
その他	21
小計	△1,773
利息及び配当金の受取額	78
雑収入の受取額	108
利息の支払額	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	45
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△142
投資有価証券の取得による支出	△15
その他	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△51
配当金の支払額	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,936
現金及び現金同等物の期首残高	15,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,922

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの主力販売チャネルにおいては、外出を控えて自宅で過ごす人のいわゆる「巣ごもり需要」がある一方、引き続き外食チェーンの苦戦に加え在宅勤務等による都市部のコンビニエンスストアにおける来店客数の低迷が続いております。当該感染症による影響は不確実性が高く、個人消費が元の水準に戻るにはさらに時間を要すると見込んでいるものの、当連結会計年度の会計上の見積りに重要な影響を与えるものではないと判断しております。

ただし、当該感染症の収束時期や今後の状況の変化によって上記判断を見直した結果、当社グループの財政状態、経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

投資有価証券の売却

当社の連結子会社である株式会社トーカンが保有する株式会社ファミリーマートの株式について、リテールインベストメントカンパニー合同会社が実施する公開買付に応募することを、2020年8月6日開催の取締役会において決議いたしました。

本公開買付が成立した場合、投資有価証券売却益として約71百万円を特別利益に計上する見込みであります。

公開買付期間 : 2020年7月9日から2020年8月24日

公開買付予定価格 : 1株につき2,300円

応募する株式数 : 102,896株